

## 出穂期及び赤かび病防除適期の予想

令和4年3月22日  
那須農業振興事務所経営普及部

### ○茎立ち状況及び出穂期予想（管内南部）

適期に播種したほ場では、生育が進んでおり、平年に比べ2～14日早く茎立ち期を迎えました。

茎立ち期の早まりに伴い、出穂期についても早まる可能性があります。茎立ち期からの気温（3/21までは実測値、以降は平年値）により、下表のとおり出穂期を予想しました。

播種日によって出穂期に差が出ることが予想され、11/3頃の播種では、平年より7日早い4/12頃に出穂期を迎える予想となっています。

地域	播種日	茎立ち期	出穂期予想
那須塩原市二区町	11/3	3/5	4/12
大田原市河原	11/3	3/5	4/12
大田原市荻野目	11/5	3/15	4/17
大田原市湯津上	11/8	3/17	4/18
(参考) 平年値		3/19	4/19
(参考) 昨年産	11/1～11/5	3/3頃	4/4頃
	11/10頃	3/17頃	4/13頃

※出穂期とは、ほ場内の麦の40～50%が出穂した日である。

出穂期は、茎立ち期以降の日平均気温から予想した。

$\Sigma$  (日平均気温-3.3)  $\geq$  173.4 (農業試験場予測式を一部変更)

### ○赤かび病防除適期の予想

出穂期が早まった場合、赤かび病の防除適期も早まるため、注意しましょう。

防除適期	
1回目	出穂期の10～13日後
2回目	多発の恐れがある場合、1回目の7～10日後

※出穂期頃に異常低温や降霜・高温に遭遇し、不稔粒が発生した場合多発の恐れがある。

出穂期の予想から、赤かび病の防除適期を下表のとおり予想しました。多発の恐れがある場合は、2回の薬剤散布により、防除を徹底しましょう。

出穂期	1回目の防除適期	2回目の防除適期
4/12	4/24前後	5/3前後
4/17	4/29前後	5/8前後
4/18	4/30前後	5/9前後

### ○早期出穂による不稔への注意

4月上旬に出穂すると、異常低温に遭う可能性が高く、不稔粒の発生につながります。また、出穂前後の降霜・高温も不稔粒発生の原因になるため注意が必要です。不稔粒は赤かび病の温床となることから、発生した場合は、防除を徹底してください。

不稔の発生要因

- ① 出穂前8～10日頃の低温（-1.0～-1.5℃の低温に3～4時間）
- ② 出穂前後の降霜
- ③ 出穂前後の高温（25℃以上）

4～6月は「春の農作業安全確認運動」の実施期間です。



高齢農業者の事故が多発しています！以下のことを心がけましょう。

- ・複数人での作業に心がけ、一人で作業を行う場合は携帯電話を所持する
- ・こまめな休息と、余裕を持った作業を行う
- ・家族や仲間から、作業への「声かけ」（注意喚起）をする